

我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書（平成26年10月） 概要版

1. 背景と検討経過（報告書本編P.1 5）

平成19年3月に耐震性の問題から1,000席のホールを有する我孫子市民会館を閉鎖することになったことから、市ではこれまでに新たな文化施設の整備に向けて2つの委員会と1つの研究会を立ち上げ、検討を行ってきました。

平成23年3月には東日本大震災が発生し、定住人口の減少が加速したことなどを踏まえ、にぎわいを育み地域の活性化をもたらす新たな文化交流拠点としての機能を持った施設の整備が必要となってきました。

【検討委員会等の設置】

- ・平成18年4月「我孫子市民会館跡地利用検討委員会」設置 報告書提出（H19.11）
- ・平成19年2月「我孫子市文化施設検討委員会」設置 報告書提出（H19.11）
- ・平成20年7月「我孫子市文化施設建設研究会」設置 報告書提出（H21.5）
- ・平成24年8月「我孫子市文化施設整備庁内検討委員会」設置
- ・平成25年11月「我孫子市文化交流拠点施設整備専門家会議」設置

【議会】

- ・平成18年9月「市民会館早期建設に関する要請についての陳情」が提出され、同年12月定例会で採択

【広域での検討】

- ・平成23年8月「柏市・我孫子市文化会館共同設置研究会」設置 報告書提出（H24.7）

2. 目的（報告書本編P.1）

この調査研究では、「文化芸術の振興」に加え、さまざまな「交流」や「にぎわい」を創出する、新たな文化交流拠点施設の整備について、次の検討を行ったものです。

・施設整備の基本方針や導入機能 ・建設候補地の検討・評価 ・整備・運営方針や概算整備費など

新たな施設の整備には、多額の財政負担が伴うため、市では今後、整備の是非を含めて、市民と連携・協力しながら検討を進めていくこととしています。この報告書は、検討する際の基礎資料として利用するために、専門家の意見などを踏まえて調査研究を行い、庁内の検討委員会での結果をまとめたものです。

3. 上位計画等における位置づけ（報告書本編P.6 8）

- (1) 我孫子市第三次総合計画
- (2) 我孫子市文化芸術振興条例
- (3) 我孫子市生涯学習推進計画(第二次)
- (4) 我孫子市観光振興計画

4. 市民ニーズ（報告書本編P.9 13、資料編P.12 37）

文化芸術活動の推進や新たな文化交流拠点施設に対する市民のニーズと、さまざまな交流やにぎわいの創出を整備目標としているため、観光・レジャーに関する市民や首都圏住民のニーズを確認しました。

(1) 各種団体に対するアンケート調査・ヒアリング調査の結果

- 1.旧市民会館の利用実績...旧市民会館の大ホールは音楽団体による利用が多かった。
- 2.旧市民会館閉鎖の影響...代替施設として「けやきプラザ（ふれあいホール：定員551人）」を利用したとする団体が音楽団体を中心に多かったが、代替施設は狭く、来場者数も減少したとする回答が目立った。
- 3.新たな文化交流拠点施設に求める機能...「楽屋・控室」、「リハーサル室・練習室」、「音楽ホール」、「多目的ホール」
- 4.ホールの規模（定員）...音楽団体を中心に「800人以上」とする回答が6割弱
- 5.新たな文化交流拠点施設で重視する条件...交通利便性（「十分な駐車場を確保できる場所」、「公共交通の便の良い場所」）
- 6.市と連携・共同できそうな取り組み...「イベント開催時の参加」、「イベント開催の企画」、「運営協力」
- 7.にぎわいを生み出すために必要なこと...「高い交通利便性」、「多目的の施設とする」、「飲食店の近隣に立地又は併設」など

(2) 我孫子市の観光に関するアンケート調査の結果

【市民調査結果の概要】

- 1.観光資源の訪問・体験回数が1回以上の比率...「手賀沼周辺」85.8%、「鳥」67.1%、「白樺派の拠点」46.2%など
- 2.観光資源の満足度...「手賀沼周辺」67.1%、「鳥」55.5%、「白樺派の拠点」41.8%、「旧柴崎村の旧跡」36.4%など
- 3.観光資源の要改善点...手賀沼周辺の「トイレ」31.7%、「休憩施設・スペース」24.6%、「飲食施設・設備」21.4%
- 4.我孫子市でやってみたいレジャー...「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」78.3%、「ボート等水上アクティビティ」37.3%など
- 5.あびこ農産物直売所あびこんに追加してほしい施設・サービス...「品揃えの充実」66件、「飲食施設の設置」34件など
- 6.手賀沼周辺の農地・農業を活かした観光に期待すること...「直売所等の直接購入の場・施設の整備・拡充」49.1%、「農家レストラン（地元食材使用）の整備」47.8%

【首都圏住民調査結果の概要】

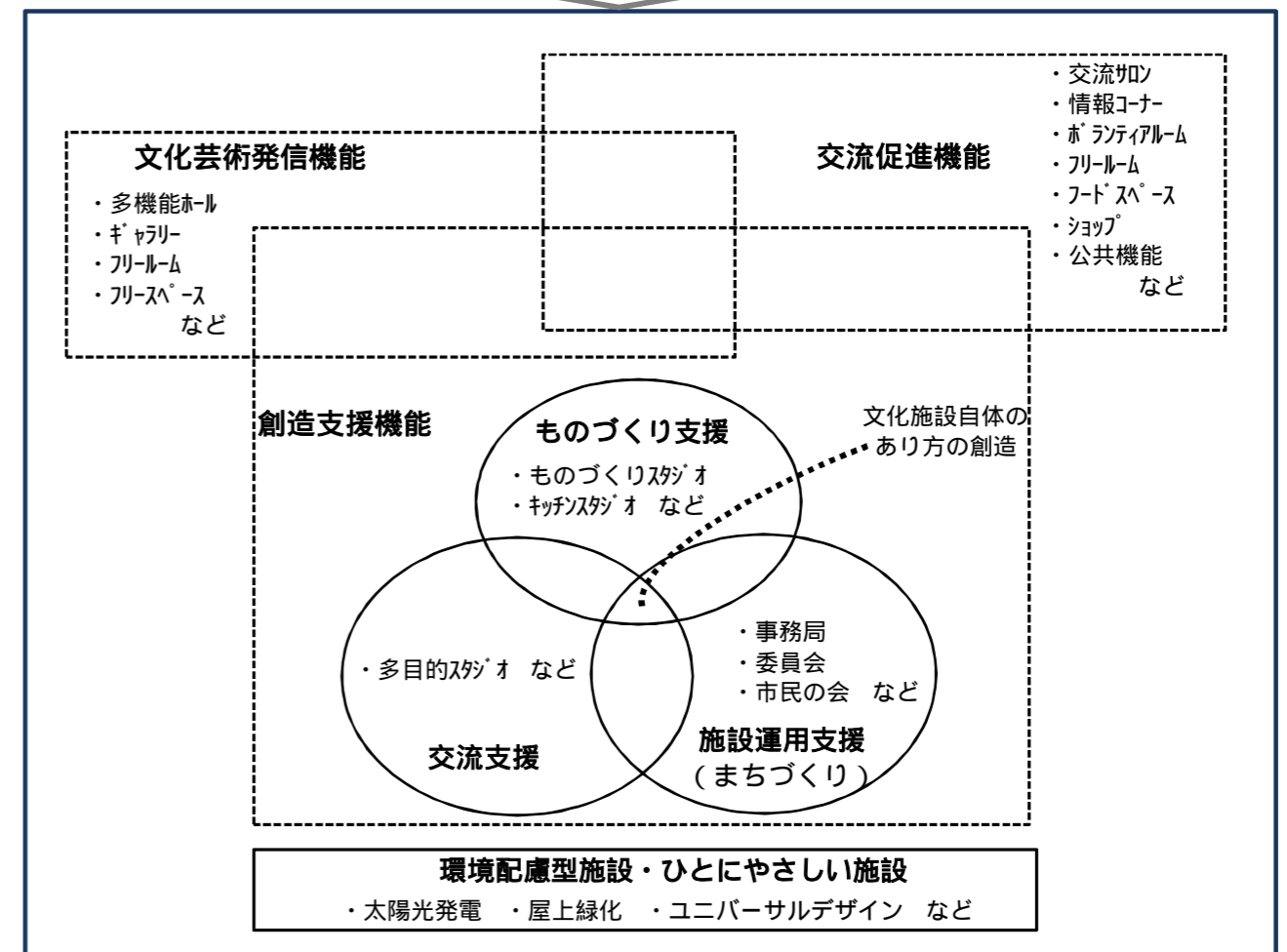
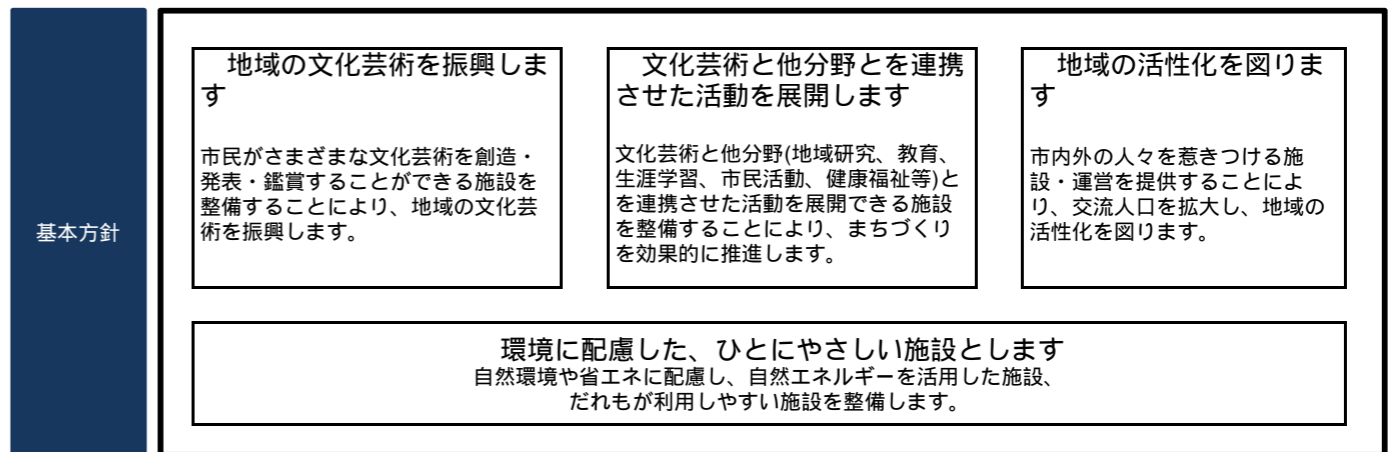
- 1.我孫子市のイメージ...「手賀沼のあるまち」77.3%、「地下鉄千代田線の駅のあるまち」61.7%など
- 2.我孫子市への訪問目的...「観光・レジャー」45.4%、「ショッピング」32.0%、「食事」26.3%など
- 3.興味のある観光資源...「手賀沼周辺」57.2%、「手賀沼花火大会」46.7%、「鳥」20.7%
- 4.我孫子市でやってみたいレジャー...「ウォーキング、ジョギング、サイクリング」48.7%、「ボート等水上アクティビティ」35.6%など

5. 基本方針及び導入機能（報告書本編P.14 21）

市の特性や上位計画、関連計画、市民ニーズを踏まえ、新たな文化交流拠点施設整備の基本方針を「地域の文化芸術を振興します」、「文化芸術と他分野とを連携させた活動を展開します」、「地域の活性化を図ります」とします。また、ユニバーサルデザインの思想が求められていることから、「環境に配慮した、ひとにやさしい施設とします」も加えます。

これら4つの基本方針の下、新たな文化交流拠点施設を整備し、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいの創出を目指すものとします。

導入機能では、「文化芸術発信機能」、「創造支援機能」、「交流促進機能」を導入し、機能ごとに「文化芸術発信ゾーン」、「創造支援ゾーン」、「交流促進ゾーン」の3つのゾーンを設け、各機能間の連携を考慮した配置とすることを想定します。



6. 建設候補地の検討（報告書本編P.22 28）

建設候補地	高野山新田エリア	下ヶ戸・岡発戸エリア	中里新田エリア	气象台記念公園	我孫子市役所	天王台西公園	手賀沼公園	
評価項目	大区分	小区分						
	相乗効果を生むまちづくり	周辺人口 周辺小売業販売額 連携の可能性のある周辺施設等（歴史・文化施設等、教育施設等、自然・公園等）						
	土地利用の制限	都市計画法による制限 建築基準法による制限 農地に関する規制除外手続き 都市公園法による公園面積（敷地面積）に対する建築面積の割合（建ぺい率）の限度 埋蔵文化財包蔵地の範囲						
	用地	面積 道路付き 地盤改良の必要性 用地買収（含賃借） 用地内既存施設の移転（代替施設の確保）の必要						
	アクセス	最寄鉄道駅への距離（2 駅利用できる） 最寄鉄道駅の電車本数 最寄バス停のバス本数						
	周辺環境	周辺生活環境への影響 周辺騒音発生施設の文化施設への影響						
都市基盤	電力 太陽光発電の導入可能性 ガス 通信 上水道 下水道							
課題	農振法・農地法との整合性	農地法との整合性	総合計画との整合性	用途地域との整合性 都市公園法との整合性	用途地域との整合性 建築基準法との整合性	用途地域との整合性 都市公園法との整合性	用途地域との整合性 都市公園法との整合性 建築基準法との整合性	
評点合計 （満点：1,470点）	1,130	1,065	805	645	945	665	925	
順位	1	2	5	7	3	6	4	

7. 整備・運営の考え方（報告書本編P.29 30,資料編P48 56）



8. 施設の規模及び概算整備費（報告書本編P.31 35）

新たな文化交流拠点施設の機能や諸室、規模は、今後、市民との協働により決定していくこととしており、基本設計はまだ行っていません。新たな文化施設の「文化ホールの規模（座席数）」、「建物延べ面積」、「駐車場及び敷地面積」を想定し、参考までに概算整備費を試算すると、次のようになります。

(1) 施設の規模

ホールの座席数：1,300席前後（大ホール1,000席前後、小ホール300席前後）
 建物延べ面積：7,000～8,000㎡程度
 駐車場の規模：228台程度
 敷地面積全体面積：14,868㎡

(2) 概算整備費

概算整備費：39億～45億
 = 他市事例の平均建設費単価：56万円×7,000～8,000㎡（想定建物延べ面積）

文化施設名	自治体名		竣工年 (平成)	建設費 (百万円)	建物 延べ面積 (㎡)	建設費 (㎡単価 ・万円)
くまもと森都心プラザ	熊本県	熊本市	23	6,300	9,568	66
柏崎市文化会館アルフォーレ	新潟県	柏崎市	24	4,790	7,677	62
大船渡市民文化会館	岩手県	大船渡市	20	5,140	9,290	55
八戸ポータルミュージアム	青森県	八戸市	22	3,038	6,463	47
富士五湖文化センター・富士吉田市民会館	山梨県	富士吉田市	23	3,209	7,289	44
平均				4,495	8,057	56

（出所）「平成25年度 全国公立文化施設協会名簿」（公益社団法人全国公立文化施設協会発行）をもとに株式会社総合研究所が作成。